

玉川上水・野の花だより No. 35

ムラサキシキブ（紫式部） 美しい実

中央大学研究開発機構・機構客員教授 東京大学名誉教授

石川 幹子

2026年 9月4日

笹塚緑道で、高貴な紫色の実をつけたムラサキシキブ（紫式部）を見ることができます。「野の花だより」のNo.26で御紹介した花です。写真1は、7月6日に撮影した紫式部の花で、淡い桃色の花でした。秋になり美しく色づきました。

学名は *Callicarpa japonica*, Thunb. var. *japonica* で、スウェーデンの植物学者のカール・ツンベルクが命名しました。*callos* は美しい、*carpos* は果実です。ツンベルクは、長崎の出島で商館医を務めた方で、『*Flora Japonica*』（1784年）を著わしています。

日本名は紫式部です。写真2の美しい実をご覧になれば、この名前にも納得されるのではないのでしょうか。一見、目立たない花が徐々に姿を変え、宝石のような姿になることに会うのは、ささやかな喜びです。多くの人々の行き交う雑踏の中で、豊かな自然の恵みを、間近に体験できるかけがえのない瞬間です。



写真1 ムラサキシキブ 2026年7月6日

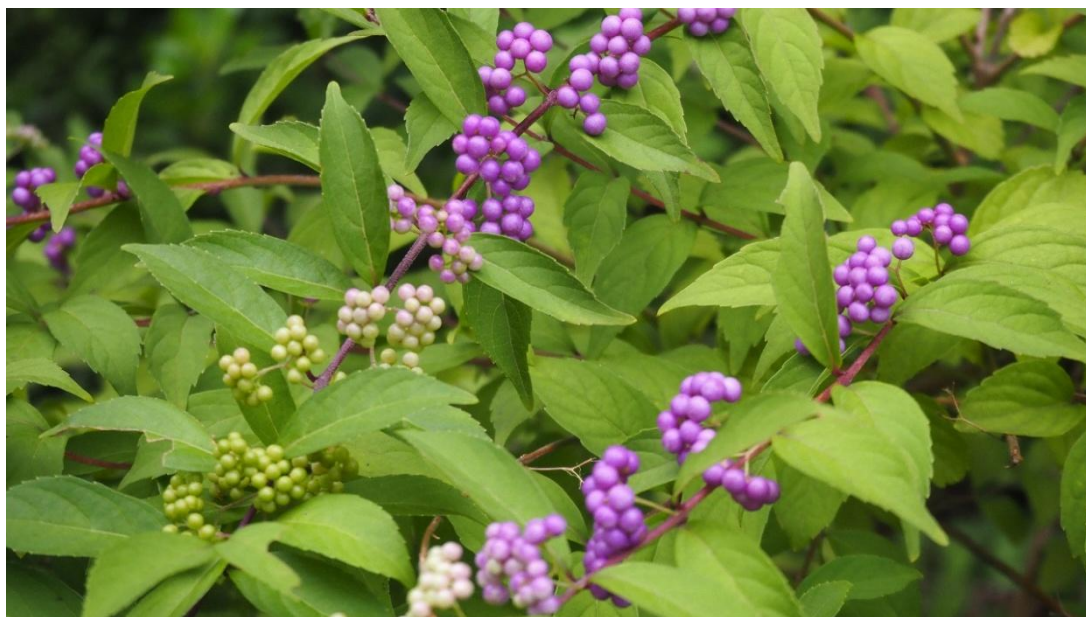


写真2 ムラサキシキブ（紫式部） 笹塚緑道 2026年9月2日